

令和 7 年 生駒 市 教 育 委 員 会

第 12 回 定 例 会 議 案

令和 7 年 12 月 16 日

生 駒 市 教 育 委 員 会

令和7年生駒市教育委員会(第12回)定例会議案目録

議案番号	議 案 名	項
報告第19号	臨時代理につき承認を求めることについて(令和7年生駒市議会第6回(12月)定例会提出議案の意見について)	1
報告第20号	教職員人事異動方針について	3
報告第21号	令和7年度幼稚園・保育園・こども園訪問の結果について	8
報告第22号	令和7年度小学校・中学校訪問の結果について	13
報告第23号	令和8年二十歳のつどいの開催について	32
議案第27号	生駒市幼稚園再編にかかる基本方針策定について	33
議案第31号	幼稚園教諭・保育士人事異動方針について	34
議案第32号	社会教育委員の委嘱について	36
議案第33号	令和8年度春期休業の終期及び冬期休業の始期の変更について	37

報告第19号

臨時代理につき承認を求めることについて（令和7年生駒市議会第6回 (12月)定例会提出議案の意見について）

令和7年生駒市議会第6回（12月）定例会提出議案の意見について、教育委員会を招集するいとまがなかったため、生駒市教育委員会教育長に対する事務委任等に関する規則（昭和60年4月生駒市教育委員会規則第6号）第5条第2項の規定により、令和7年12月2日に臨時に代理したので、これを報告し、承認を求める。

令和7年12月16日提出

生駒市教育委員会

教育長 原 井 葉 子

【提出議案】

- ・南コミュニティセンターせせらぎ空調設備更新工事請負契約の締結について
(追加提案分)



議案第 90 号

南コミュニティセンターせせらぎ空調設備更新工事請負契約の締結
について

令和 7 年 1 月 18 日事後審査型条件付一般競争入札に付した南コミュニティセンターせせらぎ空調設備更新工事について、下記のとおり請負契約を締結するため、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例（昭和 39 年 4 月生駒市条例第 2 号）第 2 条の規定により、議会の議決を求める。

記

- 1 契約の目的 南コミュニティセンターせせらぎ空調設備更新工事
- 2 契約の方法 事後審査型条件付一般競争入札
- 3 契約金額 272,800,000 円
- 4 契約の相手方 生駒市緑ヶ丘 1419 番地 1
竹田水道工業株式会社 生駒営業所
所長 谷 口 孝 次
- 5 工期 契約の日から令和 9 年 8 月 31 日まで

令和 7 年 1 月 8 日提出

生駒市長 小 紫 雅 史

報告第 20 号

教職員人事異動方針について

生駒市教育委員会教育長に対する事務委任等に関する規則（昭和 60 年 4 月生駒市教育委員会規則第 6 号）第 6 条第 5 号の規定により、次のとおり報告する。

令和 7 年 12 月 16 日提出

生駒市教育委員会

教育長 原 井 葉 子



教職第492号
令和7年11月19日

各市町村教育委員会教育長 殿

奈良県教育委員会教育長

教職員人事異動方針について

奈良県教育委員会では、本県教育の一層の充実を目指すため、別紙のとおり令和4年11月8日付けで、教職員人事異動方針を定めています。令和8年4月向け人事異動についても、同方針に沿って実施します。



教職員人事異動方針

令和4年11月8日
奈良県教育委員会

教職員人事異動方針を下記のとおり定める。

記

1 基本方針

教育に対する県民の期待と要望に応え、学校教育の一層の進展を期するため人事行政の秩序を保ち公正にして適切な人事異動を行う。

- (1) 各学校の教職員組織の充実と均衡を図るため、全県的な見地に立って、適材を適所に配置する。
- (2) 教職員の経験を豊かにし、気風の刷新を図るため、同一校長期勤務者の解消に努める。
- (3) 若手教職員の人材育成の観点から、多様な経験を積ませるために、積極的な人事異動に努める。
- (4) 児童・生徒の指導の充実強化を目指し教員の特性、経験を生かす異動に努める。

2 実施要領

人事異動に当たっては、所期の目的を達成するため、市町村教育委員会及び学校長との連絡協議を密にし、次のとおり行うものとする。

なお、特に、へき地教育、人権教育、特別支援教育並びに定時制・通信制教育の一層の振興を図るため、教職員組織の充実に努める。

(1) 任用

- ① 校長・教頭については、年齢、経歴にとらわれることなく校種、地域の実情、本人の特性等を考慮の上、原則として校長・教頭候補者名簿に登載された者の中から任用する。
- ② 小・中学校長の任用に際しては、県内全域を対象として適材を適所に配置する。
- ③ 教職員の新規採用者の配置については、採用候補者名簿に登載された者の資格、特性等を考慮の上で行う。

(2) 転任

- ① 小学校、中学校における市町村間・校種間の交流を積極的に進めるとともに、高等学校における地域・学科及び課程相互間、特別支援学校とその他の学校間、並びに教育委員会事務局と学校間等の交流を図る。
- ② 年齢・性別・教科・勤務年数等を考慮し、適材を適所に配置する。
- ③ 同一校に10年以上勤務する者については、地域や学校の実情を考慮しながら、原則として異動を行うこととする。なお、同一校10年未満勤務の者についても、長期的観点から段階的な異動に努める。
- ④ 新規採用後、初回の異動については、多様な経験を積ませるために、地域や学校の実情を考慮の上、早期の段階で行うこととする。小・中学校においては、県内全域の他市町村への異動を基本とする。

附則

- 1 この方針は、令和5年4月1日人事異動から適用する。



教職第493号
令和7年11月19日

各市町村教育委員会教育長 殿

奈良県教育委員会教育長

令和8年4月教職員人事異動の重点について

本県教育の一層の充実を目指すため、教職員人事異動方針（令和4年11月8日策定）を踏まえ、別紙のとおり、令和8年4月小・中学校教職員人事異動の重点項目を定め、人事異動を行うこととしたので、通知します。



令和8年4月小・中学校及び義務教育学校教職員人事異動の重点項目

1 管理職及び県教育委員会事務局指導主事等への若手教員の積極的な登用を進める。

(教職員人事異動方針2(1)①、(2)②)

【趣旨】 中央研修や大学院研修、人事交流等の機会を通じ、次代を担う人材（ミドルリーダー）の育成に努めるとともに、魅力と活力ある学校づくりを進めるため、管理職及び県教育委員会事務局指導主事等への若手教員の積極的な登用を推進する。

2 女性管理職の積極的な登用を進める。

(教職員人事異動方針2(1)①)

【趣旨】 本県の女性管理職が全管理職に占める割合は、全国的に低位な状況にある。女性教員の活躍する場と機会の充実を図ることにより、次代を担う女性教員の育成に努めるとともに、管理職への積極的な登用を推進する。

3 初回異動対象年限を3年～10年までとし、地域や学校の実情を考慮の上、全県的な見地に立て、県内全域の他市町村への異動を行う。

(教職員人事異動方針2(2)③④)

【趣旨】 初回異動対象年限を3年から10年までとし、市町村を越えて配置することにより、多様な経験を積ませ、ものの見方や考え方を広げ、実践的な指導力を向上させる。

4 特別支援教育・通級指導及び小中一貫教育の充実を目的とした、特別支援学校並びに小・中及び義務教育学校間の交流を積極的に進める。

(教職員人事異動方針2(2)①)

【趣旨】 小・中及び義務教育学校と県立特別支援学校間での相互交流により、短期（1年）から基本の3年間の期間において、お互いのノウハウを学び生かせるような人材を増やす。また、小中一貫で9年間を見通した学習指導・生徒指導等を進めるための小・中及び義務教育学校間の交流、特別支援教育・通級指導の充実を目指した小・中及び義務教育学校間の交流を推進する。

5 へき地教育推進のための公募制人事異動を進める。

(教職員人事異動方針2(2)①)

【趣旨】 へき地教育に対し意欲のある教員を公立小・中学校及び義務教育学校から公募し、適材を適所に配置することで人事面から学校づくりを支援し、へき地教育の一層の充実を図る。

報告第 21 号

令和 7 年度幼稚園・保育園・こども園訪問の結果について

令和 7 年度幼稚園・保育園・こども園訪問の結果について、生駒市教育委員会教育長に対する事務委任等に関する規則（昭和 60 年 4 月生駒市教育委員会規則第 6 号）第 6 条第 5 号の規定により、次のとおり報告する。

令和 7 年 1 月 16 日提出

生駒市教育委員会

教育長 原 井 葉 子

＜令和7年度定期幼稚園・保育園・こども園訪問報告＞

1 目的

教育長、教育委員、教育委員会事務局職員が幼稚園・保育園・こども園を訪問することにより、教育・保育課程の運用、保育内容、安全教育等、保育全般にわたり、幼稚園・保育園・こども園の実態に即して、指導助言を行い、各園が主体的に、より充実した教育・保育活動や特色ある園運営が推進できるよう支援する。

2 訪問日時及び訪問者

幼稚園・保育園名	訪問日時	訪問者
ひがし保育園	9/1 9:00～	中川委員・吉尾委員・原井教育長・南口次長 長崎指導主事・牧野指導主事
小平尾保育園	9/1 10:30～	中川委員・吉尾委員・原井教育長・南口次長 長崎指導主事・牧野指導主事
俵口幼稚園	9/10 9:00～	中川委員・吉尾委員・原井教育長・松田部長 長崎指導主事・牧野指導主事
中保育園	9/18 9:00～	中川委員・吉尾委員・原井教育長・松田部長・南口次長 長崎指導主事・牧野指導主事
認定こども園 生駒幼稚園	9/18 10:30～	中川委員・吉尾委員・原井教育長・松田部長・南口次長 長崎指導主事・牧野指導主事
桜ヶ丘幼稚園	9/25 9:00～	中川委員・吉尾委員・原井教育長・松田部長・南口次長 長崎指導主事・牧野指導主事
あすか野幼稚園	9/25 10:30～	中川委員・吉尾委員・原井教育長・松田部長・南口次長 長崎指導主事・牧野指導主事
なばた幼稚園	9/26 9:00～	中川委員・吉尾委員・原井教育長・南口次長 長崎指導主事・牧野指導主事
壱分幼稚園	9/26 10:30～	中川委員・吉尾委員・原井教育長・南口次長 長崎指導主事・牧野指導主事
生駒台幼稚園	9/29 9:00～	中川委員・吉尾委員・原井教育長・松田部長・南口次長 長崎指導主事・牧野指導主事
南こども園	9/29 10:30～	中川委員・吉尾委員・原井教育長・松田部長・南口次長 長崎指導主事・牧野指導主事

3 園からの説明の概要

ひがし保育園	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人の職員が少人数の中で力を発揮できるよう、自主的に計画・進行を行い、様々な分野でのチーム活動を進めている。 食育活動として、食育計画に沿った栽培・調理・給食等の推進に努めている。その中でも栽培活動は戸外だけでなく、保育室前の廊下においても行い、0・1歳児の園児にとっても身近なものとなっている。 施設の安全確保・安心安全な保育環境の整備を図るために、防犯・防災についての園全体の研修および小グループの意見交換を園内研修として実施している。
小平尾保育園	<ul style="list-style-type: none"> 生駒市人権学習会の拠点として、人権についての取組を発信できる園を目指している。また、職員が確かな人権感覚を身に付けるために人権のグループワークを行っている。 保幼小接続として、こども園・小学校との交流を深めてきたが、今年度は小学校の先生が保育の様子を参観した後、幼児の生活・遊び・環境等について共有と意見交換を行い、保幼小接続に向けた相互理解が深まる機会となった。 施設の安全確保・安心安全な保育環境の整備を図るために避難訓練を実施しているが、今後は保護者の引き渡し訓練の実施を予定しており、非常時に備えた体制強化を進めていく。
俵口幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> 教育目標に基づき、わくわく（興味・関心・遊びの全般）ほのぼの（人との関わり・異年齢交流）ぐんぐん（体力・挑戦・生活習慣）を柱に総合的な教育を行っている。その中で、小規模園の特性をいかし、丁寧な保育を進めている。 「えん・くろす」の活動は、『みんなで楽しむこと』をモットーに、園・地域・保護者が互いに豊かな経験を積み重ねられるような実体験を意識した活動を進めている。 預かり保育のニーズが高く、安心して利用ができるよう子育て支援の充実を行っている。
中保育園	<ul style="list-style-type: none"> 保育者の専門性および資質向上のために、主体的に生活し活動できる環境をテーマに、「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」をふまえて園内研修に取り組み、常に課題について共有している。 子育て支援を一層充実させることを目的として、地域の家庭が気軽に参加できる園庭開放やサンデーひろばを実施し、保護者の交流促進や子どもの安心した遊びの場の提供に努めている。 東新町自治会・東寿会の方々との交流を通して、互いの顔が見える関係づくりを築き、地域に見守られた環境作りを進めている。

認定こども園 生駒幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> 就学前教育で大切な『遊びは学び』について、機会あるごとに保護者に話をしたり、SNSで園の様子を発信したり、園の教育に理解をしてもらえるように工夫している。また、未就園児の保護者や地域の方、小学校の先生にも就学前教育の理解を深めてもらえるように取り組んでいる。 防犯対策や熱中症対策、落雷対策（雷探知機利用）など危機管理意識を高め、安心・安全に過ごすことができるよう取り組んでいる。 職員数が多く、経験年数の差が大きいので、職員の力を引き出し、一人一人の資質向上を目指し、よりよい保育につなげていけるように研修を深めている。
桜ヶ丘幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> 実体験を大切にした遊びの環境を構成し、遊びを通して学びの芽を育んでいけるよう取り組みを進めている。 わくわくコーディネーターを中心に「先生のやってみたい！」と「子どものやりたい！」をつなぎ、主体的な取組を推進している。 全園児徒歩通園である利点を生かし、写真掲示や保護者とのさくらっこトーク、スライドショーを用いて、『見える化』を意識した保護者への発信を工夫している。 園の特色や幼児期の学びの姿、本園の魅力を保護者だけでなく未就園児、地域などより多くの人に発信できるように工夫している。
あすか野幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> あすか野幼稚園の頭文字から、「あさごはん」「あいさつ」「あそぼう」「ありがとう」「あるこう」の5つの『あ』を大切にしている。 小規模園の良さをいかした保育を展開できるように全職員で連携し工夫して保育活動を進めている。課題である集団性の確保については、近隣の公立幼稚園や私立幼稚園、保育園との交流を計画的にもち、集団としての育ちが保障できるようにしている。 地域にある保・幼・小・中の連携だけでなく、地域にある高校生との交流も進めている。いろいろな年代とのかかわりの中で豊かな心が育んでいくよう取り組んでいる。
なばた幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> 「えん・くろす」の活動を教育課程に位置付け、協働し、教育活動の充実を図っている。その中で、保護者や地域の方の得意なことをいかした取組みを行っている。 壱分幼稚園との合同保育を行う中で、どちらの園の幼児一人一人に応じた関わりができるように、2園合同で園児の実態について共有したり支援の必要な子のカンファレンスを行ったりしている。 小学校との交流は、小学校の空き教室を連携ルームとして活用し、交流方法を工夫して進めている。また、小学校へのスムーズな就学を目指し、保幼小職員で共通の視点をもちらながら研修を進めている。

壱分幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> 令和9年度のこども園化に向けて、園舎改修工事のため、なばた幼稚園での合同保育を行っている。それぞれの園の子どもの実態、経験や環境の違いを考慮した上で、活動の趣旨を明確にしながら一緒に活動する中で、子どもたち学びの場となるように2園の職員間で協力して取り組んでいる。 地域外での園生活を過ごすにあたり、保護者の様々な思いに寄り添い、子どもも保護者も安心して過ごせるように園の様子の伝え方を工夫している。 地域の行事や活動、保幼小交流・未就園の集いなど、今まで大切にしてきた地域とのつながりは、これからも大切に進めていきたい。
生駒台幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> 社会状況を視野に入れ、3年間の発達段階を把握し発達を見通した教育課程を編成している。園の教育方針や保育内容について学級懇談会等や学年だよりやSNS等で積極的に配信し、保護者にわかりやすく知らせる工夫をしている。 地域の教育力をいかし、いろいろな人と関わる経験を積み重ねている。一人一人が「自分らしく」「自分が好き」「人が好き」で安心して毎日を過ごし、生きる力を育むための遊びが展開できるよう保育を進めている。 職員の資質向上を目指し、研修体制を整えたり外部講師を招いたり研修を深めている。
南こども園	<ul style="list-style-type: none"> 開園10年目となり、幼稚園と保育園が一体となったこども園として、運営面でも安定してきている。 地域や社会の中で地域愛を持ち自己発揮ができるような「人づくり」を目指し、地域の人と共に育てていくという考えのもとに地域との協働を大切にした行事や取組を行っている。 職員の資質向上のための園内外の研修機会の確保、職員間のコミュニケーションを図っている。 未就園児の集い(ぴかぴかひろば)以外にも、地域の子育てサークルへの遊びの提供や支援の実施も積極的に行っている。

報告第22号

令和7年度小学校・中学校訪問の結果について

令和7年度小学校・中学校訪問の結果について、生駒市教育委員会教育長に対する事務委任等に関する規則（昭和60年4月生駒市教育委員会規則第6号）第6条第5号の規定により、次のとおり報告する。

令和7年12月16日提出

生駒市教育委員会

教育長 原 井 葉 子

＜令和7年度定期学校訪問報告＞

1 目的

教育委員、教育委員会事務局が学校訪問することにより、学校経営、教育課程の運用、学習指導、生徒指導、安全教育、学校評価等、学校教育全般にわたり、学校の実態に即して、指導助言や研究協議を行い、各学校が主体的に、より充実した教育活動や特色ある学校経営が推進できるよう支援する。また、適切な人事配置ができるよう、教職員の人事に関する状況を把握する。

2 小学校

①訪問日時並びに訪問者

学校名	訪問	訪問者
生駒小学校	11/10	原井教育長・中川委員・吉尾委員・中田課長補佐・野村指導主事・金指導主事・若松主幹
生駒南小学校	9/19	吉田管理主事・原井教育長・松田部長・中川委員・吉尾委員・松田課長補佐・中田課長補佐・金指導主事・植田指導主事
生駒北小学校	11/20	原井教育長・中川委員・山本総務課長・中田課長補佐・植田指導主事・廣瀬指導主事
生駒台小学校	10/23	吉田管理主事・原井教育長・中川委員・吉尾委員・花山課長・野村指導主事・廣瀬指導主事・若松主幹・中川主幹
生駒東小学校	9/12	吉田管理主事・原井教育長・松田部長・中川委員・花山課長・野村指導主事・池下指導主事・佐竹主幹
真弓小学校	11/21	吉田管理主事・原井教育長・中川委員・吉尾委員・花山課長・松田課長補佐・野村指導主事・池下指導主事・若松主幹
俵口小学校	10/24	吉田管理主事・原井教育長・中川委員・吉尾委員・山本課長・中田課長補佐・金指導主事・廣瀬指導主事
鹿ノ台小学校	11/11	原井教育長・中川委員・飯島委員・中田課長補佐・植田指導主事・廣瀬指導主事・前田主任
桜ヶ丘小学校	11/10	原井教育長・中川委員・吉尾委員・中田課長補佐・野村指導主事・金指導主事・若松主幹
あすか野小学校	11/21	吉田管理主事・原井教育長・中川委員・吉尾委員・花山課長・松田課長補佐・野村指導主事・池下指導主事・若松主幹
壱分小学校	10/27	吉田管理主事・原井教育長・松田部長・中川委員・吉尾委員・飯島委員・花山課長・中田課長補佐・池下指導主事・植田指導主事・佐竹主幹・山本課長
生駒南第二小学校	11/17	原井教育長・松田部長・吉尾委員・飯島委員・花山課長・中田課長補佐・金指導主事・池下指導主事・前田主任

②ヒアリング内容

内 容	
生駒小学校	<p>学校組織について多角的に検討している</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校評価を年間3回、学校運営協議会による自己評価で改善 <p>【授業改善】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業研究の組織作り ・ESDの研究部長、研究主任を中心に複線型の学び方を進める。生駒のまちについて学びをすすめることを同じ形で進めている。授業の展開や国語・算数の公開を目的とした「ぶらり週間」で空き時間に授業を見合う。 ・ユネスコスクールで生活科、総合的な学習とESDの親和性が高いので、特色として進めていく。自分たちの学びが社会の変化につながる経験を子どもたちに与えたい。 <p>【地域に開かれた学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・100人のボランティア登録、実際には30~40名が活動している。家庭科の補助や3.4年生の社会見学や町たんけんに同行。地域の方に学校の様子・生駒を知ってもらう機会になって欲しい。 ・中地区の防災訓練に参加し運営補助。愛染寮の活動にも参加。 ・生駒小学校区地域学校本部は園と合同で活動を行っている。幼保こ小の接続が強く、4園を夏に見学し交流を進めていることも特色。 ・スポーツイベントの開催にも幼稚園、こども園のこどもも参加することを予定。 ・Xによる情報発信を心がける。 <p>【多様な学び】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サポートルームの部屋がなく、校長室の隣の会議室で対応している。 ・会議室でインターネットがつながりにくい状況。環境的にも難しい。 ・児童数は増加傾向のため、増設がなければ、余剰の部屋は出ない。 ・学校へ通いづらい児童が複数いるがほととルームへ通うことができている。 ・多様化学校設置に向けては、積極的に関わっていきたい。 ・愛染寮と積極的に連携をはかっていく。

生駒南小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・児童数が減少、今後南小中学校として開校予定。 ・グランドデザイン「みんなで元気仲間を思いやり自ら学ぶ」 ・学校目標「知徳体」生きる力、共同性を育む ・長欠児童数、不登校の児童数の増加（コロナ禍後）、家庭も含めて支援が必要、子サポ、家児相等と連携。 ・家から出られない、のびのびや教室に入りづらい児童も増えているのでサポートルームの準備も必要ではないか。 ・学力向上、個別の支援が学校の課題。 ・先生も主体的に「みなみプロジェクト」に参加。メンバー10人 ・子どもの自分自身を知る「メタ認知」 ・小グループでの対話、ミニ研修（得意の分野で希望者参加）を実施し、年齢関係なく助け合える関係の構築を目指す。 ・子どもの主体的な学びを進める上で、「授業を見合おう週間」を実施。9/16-26 ・話し合った内容を職員室に掲示し話し合った内容の可視化、参加されていない方の意見も取り入れるように付箋を用意している。 ・算数で一番大事なことを出し合う R9 算数の近畿大会の会場校を引き受ける。 ・全体の主体的な学びについては道半ばであるが、将来につながる力をつけるためどのように授業を作るか研究中。 <p>【開かれた学校づくり】地域の活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放課後子ども教室、老人会、民生委員、保護者、よく来ていただく地域の方と顔見知り、声を掛け合う、交流をもっと進めたい。 ・学校の X で日常の活動を発信している。地域の自治会を通じて回覧。 ・保幼小中の取組として、地域クリーンアップ活動を実施（年1回） ・学校だよりを地域にも回覧している。（月2回） ・こども・保護者・学校の歩み これからの学びのカタチについて懇談会等で保護者に伝えている。
--------	---

生駒北小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・小規模ではあるが、活気のある雰囲気 ・校内サポートルームとして入口の見えない多目的室（会議室）を活用したい。 →中学校での活用マニュアルから小学校でも作成している。 ・音楽専科以外の教員は全員担任であり人員の確保も必要。 ・特休教員が出るとなかなか埋めきれず、業務の偏り勤務時間の長時間化は課題。 <p>○主体的な学び</p> <ul style="list-style-type: none"> ・元気よく挨拶、自己決定力を持つことを目標にしている。 小中で研究部を立ち上げ、小では読む力を伸ばしていくことに力を入れている。 ・1月に主体的な学習についての研修を小中合同で行う予定にしている。 <p>○特色ある教育活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の教育力をゲストティーチャーとして招待、高山への郷土愛を高める。 →茶道・作法教室（小中を通じて）中学校卒業式後自分の茶筌でお茶会。 和菓子学習（萬春堂・竹あかり協力のもと）中2 伝統音楽（三線・エイサー）地域の協力者とともに体験（中学生） ※小学生はオンライン配信で見学、今後小学生も体験 ・ネットワーク高山と協力し見守り活動を行っている。 ・環境整備にも地域の力を借りている。 ・学校だよりを月1回地域に配布している。 <p>○地域共生社会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域共生社会を目指している。地域としての高齢化問題→路線バス学習（小4） ・老人クラブへのおもてなし茶会（小6） ・インクルーシブ教育の推進 ・働き方改革 管理職の休日出勤の増加が課題。職員においては、長時間勤務は改善傾向にある。
--------	--

生駒台小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・教員構成 40 代が少ない、若手が増えている。 ・課題を抱えている児童の増加、人的な不足を感じる。 ・SC の時間がほぼ埋まっている、日数の増加ができるとありがたい。 ・全教職員で全児童を育てる意識。 ・働き方改革は進んできているが、二極化している。 ・若手の育成が課題、教諭の異動配置が少なく検討していただきたい。 ・児童数の減少が今後も見込まれる。 <p>○「歩いていこう 自分から」⇒教育大綱より、「自分から 自分らしく」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「主体的な」取り組みに対する教職員の意識の改革も必要。 ・宿題の主体性（自分で宿題を考える・選ぶ）支援学級の児童も取り組んでいる。 ・2年生から学級の係活動も児童から考えている。 ・児童会も児童主体で活動内容を考えて、提案活動もしている。 ・校内で教頭による自主研修の実施。 ・「読解力向上 NARA プラン」を参考に日常で読解の機会を多くもつ。 <p>○地域に開かれた学校づくり→地域の方々は学習支援にとどまらず、昔遊び、クラブ活動、草刈り、野菜作り（支援学級）等の支援も、児童も多く参加している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラブ活動にも地域の方に支援していただいている。（茶道、科学） ・図書ボランティアは今後読み聞かせを復活させたい。 ・ウィンタースクールで昔遊び。子ども 100 名以上参加。 ・X での配信、学級だよりも積極的に発行している。 <p>○すくすくルームは居心地の良い空間となってきている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すくすくルームでの指導員の活躍。 ・教職員の意識改革を進めている→教室に戻すことがゴールではない。 ・生駒台幼稚園との交流は盛んに行っている。→小 1 の行き渋りをなくしたい。 <p>○組織としての在り方→個の責任と連携、担任から校長への報告ではなく、主任を通しての連携を高める。教職員の自分の専門性を深めていきたい。</p>
--------	---

生駒東小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・小規模校に合った職員の組織の改編を行っている。 ・仕事が偏らないように、部会に分けて仕事分担を行っている。 ・主任としての自覚をもてるよう、ミドルリーダーの育成を進めている。 ・インクルーシブを推進、特別支援を若手教員中心で担当し機能強化を図っていきたい。自立活動について、管理職から保護者に対して周知を行った。 ・勤務条件について、ワークライフバランスを重視している。働き方を可視化し8時以前18時以降の留守電対応が教職員も保護者も定着、先生方の勤務時間の適正化につながっている。職員の45時間超勤務はない。 ・学校評価アンケートの内容をもとに、運営を行っている。 ・グランドデザインを変更し、生駒市の教育大綱にそって、個別最適な学びを進める目指し、自由進度学習に取り組んでいる。昨年度まで取り組んでいた内容をベースに教育内容の充実に努めている。 <p>【特色ある教育活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の方が協力的であり連携し進めている。3年の校区たんけん時では地域の方が案内をしてくれた。体験活動も重視している。 ・幼保小連携も進めて、小1ギャップの解消に繋げている。給食体験の計画、管理職や1年生担任が幼保訪問を予定している。 <p>【地域に開かれた学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的に教育活動に参加していただいている。見守り活動、花いっぱい活動など。 ・図書フェスでは、防災がテーマとなっており、それに合わせて防災倉庫も確認いただいた。 ・情報発信については、学校内にさまざまな地域活動の掲示を行い、児童にも周知を行い、地域の方を身近に感じてほしいと考えている。 ・校内サポートルームについて、先行実施を行っている。他校の事例なども参考にしながら環境整備を行い、実施要項等を作成、教職員間でも共通理解を図っている。
真弓小学校	<p>①主体的な学びの促進について</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 授業研究と実践ができる組織づくり <ul style="list-style-type: none"> ・教科を絞らず、テーマに沿った授業づくりとして全学年授業公開。 (2) 特色ある教育活動の創造 <ul style="list-style-type: none"> ・ゲストティーチャーの活用。保護者も参観可能。 <p>②地域の拠点となる地域に開かれた学校づくりの促進について</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 地域の特性を生かした地域学校共同活動の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の方、PTAやスクールボランティアの協力がある。 (2) 情報発信による目指す教育・取組の広報 <ul style="list-style-type: none"> ・教室掲示もしないでほしいというご家庭もあるので、配慮が必要。 <p>③多様な学びを創出する環境・場づくりの促進について</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 不登校児童への対応(校内サポートルームの活用、組織等) <ul style="list-style-type: none"> ・ルールは作るが、臨機応変に対応。 (2) 地域共生社会の実現に向けた関係機関との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・フードドライブ、認知症講座、市のイベント(千羽鶴)に参加。地域の方々も巻き込んでいきたい。 <p>【学校の課題と改善に向けた方策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若手教員の育成、校務分掌の分担。 ・支援員を活用した取組の実践。 ・スクールボランティアとPTAとの連携、自治会とPTA、地域ボランティア見守り隊の連携が難しい。

俵 口 小 学 校	<p>【授業改善】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主研修を積極的に進めている。 ・チャットでつながりながら学年を超えての意見交流を行っている。 ・学力調査の結果から全体の底上げにつながっている。→3年一部教科担任を実施。 ・家庭科は専科授業に担任が入り込み学びと評価を行っている。 ・児童主体の授業→前に立っているのは児童で先生は後ろから見守りながら促す。 ・ICTの積極的な活用。 <p>【地域に開かれた学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域協働活動 スクールボランティアの参加・見守り活動（下校時）・放課後こども教室の実施。 ・学校だより、目的を意識して、同じものが重ならないように発信。学期に1回は紙で地域に配布している。 ・Xへ日々の教育活動の発信している。 ・PTA活動の内容を子どもや地域にも発信している。 <p>【多様な学び】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内サポートルームの必要性を感じる。→のびのびやいきいきとも連携していく。 ・ふろーらむによる花活動、出前授業。 ・たけのこ 子育ての悩みをカフェで参観日の時間前に企画。 ・俵小フェスタ 11/2 生涯学習課と連携して実施。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎・基本的な学習の確実な定着 二極化 全体の山の底上げ。 ・学調の結果を先生方とも共有し課題としてとらえる。 ・経年比較による自己肯定感の向上。 ・体力向上を今後の課題としたい。
-----------------------	---

<p>鹿 ノ 台 小 学 校</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・グランドデザインのもと児童への挨拶、声かけを大切にしている <p>【主体的な学び】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究主題 個別最適で協働的な学び ・児童の自己調整力を取り入れた学習 ・自由進度学習に取り組む前に児童の実態を把握する。 <p>①心理的安全性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サークル対話などを取り入れ、自分が思っていることを話し合う取り組み。 <p>②めあて・振り返りの明確化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表を行い、自分が調べたことを振り返っている。 ・3年 好きなことを調べて発表しあう時間を設けている。ふりかえりノート作成。話すこと、聞いたことをふりかえって書く。 <p>③実践的観点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修だよりを通して教員全体で共有。保護者にも学校だより（月2回）を通して学校での学習を紹介している。 ・授業研究週間も実施、研究討議も予定。 <p>【開かれた学校づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域と連携した森林学習、電波学習、七夕の笹の提供、家庭科ボランティア、囲碁クラブ、など地域の方々に協力いただき連携しながらの教育活動。 ・国際理解教育 留学生が多く、保護者を講師に招いての講話や子どもたちが講師役として言葉や文化を紹介している。オーストラリアの現地校とリモートでつないで交流を図った。 ・性の多様性の理解と企業による情報モラル（DoCoMo、au）教育の実施。保護者の参加も可能にしている。 ・異年齢交流として鶴の折り方、修学旅行の体験を下の学年に伝えている。 ・専科教員の充実（理科）環境面（学習教材）の充実。 <p>【多様な学び】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いきいきを利用している児童へ中学校のサポートルームを紹介している。 (学校外の機関や中学校と連携を行っている。) ・サポートルームの担当等、来年度決定していくには人員が必要。 (今年度常勤は2名足りない、非常勤で埋めている、校務分掌の負担の偏り) ・学校に通いづらい児童に向けて、課題を見極めて保護者も交えてサポートしたい。 ・校則と制服の見直しについて、児童から思いを高めていってほしいというねらいがあり、高学年で考えた。
--	---

桜 ヶ 丘 小 学 校	<p>職員特休、教員不足の課題があるが、登録制度の活用など、非常勤講師で講師補充。</p> <p>【授業改善】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業研究と実践ができる組織作り。 ・学年部会ごとの授業研究を核として、授業で子どもたちの学び、成長を促す。自立、共生をテーマに授業の研究に重きを置いている。 ・ハーモニックバンドクラブは金賞を受賞している。 ・研究協議では Canva を活用して対話。 ・今後、中学年、高学年の授業公開も予定。 ・言語活動の充実。今年度は「聞くこと」を中心に言語活動を進めている。 <p>【地域に開かれた学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域学校協働活動…放課後子ども教室を図書室・多目的室で開催。ハロウィーン、モルック、つるし柿づくり、保護者参観、低学年児童が対象。 ・交通安全指導員、指導員懇談会、見守りの高齢化について学校長も一緒に持続可能な形で対応。水曜日は学校長が立哨する等負担なく、持続可能な形で進めている。 ・PTA…退会者が増えることがなく、総会でも満場一致で決議。安定的に運営が実施できている。ガーデニング部や手芸クラブが入学式の花飾りを作成、カーテン補修を実施。環境整備にご協力いただいている。 ・気らくネット、寿大学によるカボチャ・大根・キャベツなどの栽培。 ・情報発信、X、ウェブサイト（HP、学校だより、X 主体的な学び、特色） <p>【多様な学び】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内サポートルーム（さくらるーむ）を活用している。 ・関係機関との連携。
あ す か 野 小 学 校	<ul style="list-style-type: none"> ・チーム学校の意識、50名を超える教員一人ひとりの持ち味を生かして「チームあすか野」 ・児童数が減少している。低学年：3学級、中学年：4学級、高学年：5学級 ・教職員のリスクマネジメント、報連相の徹底。 ・子どもたちの主体性を育むためにまずは教職員の主体性、管理職を中心とした温かい職員室の雰囲気づくり、教職員の自主研修や対話の場の設定、授業交流ウィーク。 ・勤務時間の適正化。 ・校舎の老朽化（45年）が課題となってくる。 ・アンケートフォームを活用した学校評価、PDCAサイクルを迅速に回す。 ・学年で子どもたちを見る意識。 ・平均年齢80歳を超える見守り隊の方々に支えられている。 ・プラスバンド部を中心に地域の方との交流、12月3日全国大会に出場。 ・校内サポートルームのモデル校として「あすか野ルーム」を充実させている。ルール作りや環境設定を進めている。学級担任や保護者と繋がりながら。担当教員がいつも居ることの安心感と子どもたちの変容。市人教研究大会にて報告予定。 ・主幹教諭を中心に保幼小連携を進めている。

壱 分 小 学 校	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら学び、心豊かにたくましく生きる子 (創意と活力に満ちた安全で安心な信頼される学校、元気よくあいさつする子、児童に寄り添う教師) →グランドデザインに掲載している。 <p>【主体的な学びの促進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究主任を中心に県主催の研修に参加、職員全体に広げている。 <p>【地域に開かれた学校づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域のつながりを今まで以上に築き上げる、学校からの積極的な発信、子どもたちには地域の事を学ばせる、やまびこネットワークと続けているあいさつ運動を中心にボランティアの方も交えてつながりを強化、月2回学校だよりを発行し地域に発信している。 <p>【多様な学びを創出する環境・場づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内サポートルーム (iRooM) でそれぞれの実態に応じて登校し活動。校内委員会による早期発見や情報共有を図る。組織づくりや居場所づくりを進めている。 ・地域共生に向けた地域との連携、学校運営協議会などの活動を充実させる、交流できる機会を設けている、保幼小の交流接続をスムーズにしていく取組。 <p>【学校の課題と改善に向けた方策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教諭 29 人、講師 19 人で講師の割合が高い。40 代の教員が充実しており、中心となっている。60 代の講師も多いので、若い世代に経験を引き継いでいってほしい。 ・来年度は 50 人程度の児童数減になってくることが予想される。今後 1 クラスずつ減っていくことが予想される。 ・柔軟な組織づくり。（長期的展望を持って若手育成） ・働き方改革 校務支援が今年から変更。独自に壱分小のグループを活用して職員の負担軽減を図っている。 ・子育て世代も多く、介護が必要な職員もあり、組織体制構築が必要。 ・研究主題は相手の気持ちを受け止め自分の思いや考えを表現する。 道徳に力を入れている。（ローテーション道徳）
-----------------------	--

生駒南第二小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・179名児童、3年生以外単学級の小規模校。 ・教育目標「人権尊重の精神を基盤に、心豊かにたくましく生きる児童を育てる～一人ひとりが主人公 みんなちがってみんないい～」 ・R7学力学習状況調査 県平均は上回っているが生駒市の平均よりは下。 ・集中力と計算、記録力のトレーニングを頑張ったと子どもたちが実感している。 ・小規模特認校の児童 保護者のアンケートから大変良かった。肯定的な意見多数。 ・職員構成 16名 50-60代が多い。20-30代が講師、若い力を今後確保したい。 ・管理職試験や育休による時短取得など、校内人事のバランスにも苦慮。 ・市費、理科専科、週3の音楽専科、この枠を増やしてもらいたい。 ・課題①小規模校としての「働き甲斐改革」への挑戦→健康と研究のバランス。 ・課題②特別な配慮を要する児童への対応→全体で担任を支えるマンパワーが必要。 ・課題③教育活動の充実→クラス替えがなく児童同士の理解はあるが、人間関係の固定化が課題。たて割り班の実施。 ・授業改善に向けて、イエナプラン教育の理念をもとに「振り返りを大切にした自己調整学習」と「異学年交流による学びの充実」を目指し、企画委員会を設置。 ・業務の見直し、軽減を推進、職員の意識改革を一層図る。 ・勤務体制について 朝から職員も早く出勤し、あいさつ運動などに自主的に参加。 ・学校評価について 児童、教職員、保護者アンケート ・学校グランドデザイン 対話的作成、市の事業にモデルで参加。 <p>【主体的な学びの促進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童用学習アンケート、全体チャレンジ授業。 ・アンケート、学力テストの結果を踏まえての学習の振り返り、ICT活用、サークル対話、自己調整学習。 ・学校教育目標の具現化、人権参観、あいさつ運動、ヤギのえさやり、異学年交流、ウサギセラピー。 ・出前授業や体験活動の充実、本に親しむ取組。（学校司書を中心に「読む力」の育成、読み聞かせの実施等） ・今月の歌、体幹作り（月金の朝）、運動集会、スポーツタイム（全員遊び） <p>【地域の拠点となる地域に開かれた学校づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二小コミュニティ協議会 クリーンデイ、炊き出し訓練、はばたき夏まつり、校外学習率、二小ガーデンプロジェクト（6年中心「持続可能な庭づくり」） ・保護者向け情報発信 学校だより、学級通信、養護教諭、学校司書のお便り。 ・地域向け情報発信 学校だより、HP・Xでの情報発信、二小コミスクだより。 <p>【多様な学びを創出する環境・場づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教室での支援、担任と子ども、保護者の関係を大切にする。 ・ほんわかルームの運営、のびのびほっとルームとの連携 ※「フリースクール」の活用（和草） ・市内でも高齢化と人口減少が進んでいる地域。 ・子どもが複数の居場所と人とのつながりを持てるような体験学習の実施。
----------	---

3 中学校

①訪問日時並びに訪問者

生駒中学校	10/24	原井教育長・中川委員・吉尾委員・山本課長・中田課長補佐・金指導主事・廣瀬指導主事
生駒南中学校	9/19	吉田管理主事・原井教育長・松田部長・中川委員・吉尾委員・松田課長補佐・中田課長補佐・金指導主事・植田指導主事
生駒北中学校	11/20	原井教育長・中川委員・山本課長・中田課長補佐・植田指導主事・廣瀬指導主事
緑ヶ丘中学校	11/4	原井教育長・中川委員・吉尾委員・花山課長・松田課長補佐・金指導主事・廣瀬指導主事
鹿ノ台中学校	11/11	原井教育長・中川委員・飯島委員・中田課長補佐・植田指導主事・廣瀬指導主事・前田主任
上中学校	11/5	原井教育長・松田部長・中川委員・飯島委員・吉尾委員・花山課長・中田課長補佐・野村指導主事・廣瀬指導主事・若松主幹
光明中学校	10/23	吉田管理主事・原井教育長・中川委員・吉尾委員・花山課長・野村指導主事・廣瀬指導主事・若松主幹・中川主幹
大瀬中学校	9/12	吉田管理主事・原井教育長・松田部長・中川委員・花山課長・野村指導主事・池下指導主事・佐竹主幹

②ヒアリング内容

生駒中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の男女比率に偏りがある 女性が多い
	<ul style="list-style-type: none"> ○授業改善 <ul style="list-style-type: none"> ・教務主任を中心に探究型学習を進めている。10/30 研究授業。 ・サポートルームの活用（2年目）、通級指導も充実している。
	<ul style="list-style-type: none"> ○学校運営委員会のメンバーを大幅に変更した。環境整備、防災を共に行う。
	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ボランティアを募集。（自治会に回覧）4名希望を聞いていている。
	<ul style="list-style-type: none"> ・今後授業のサポートーも募集したい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・情報発信も積極的に行ってている。Xは週に1度必ず投稿（教頭と担当）。
	<ul style="list-style-type: none"> ○不登校生徒への対応も校内サポートルームを中心に、組織として運営できている。
	<ul style="list-style-type: none"> ・不登校支援コーディネーターを中心に、支援員や教員も親身になって支援・対応している。
	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な学びの創出 一人一人に合った学習支援を進めている。
	<ul style="list-style-type: none"> ・地域共生社会 職場体験 関係機関との連携。

生駒南中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・30代中心 男女バランスもとれている ・生徒数は減少、2クラス編成。支援や個別に配慮が必要な生徒もいる。 ・主体的・対話的で深い学びの構築→職員研修を小学校と連携して行っている。 ・校内サポートルームを今年度から開設。 ・小規模校ではあるが、先生方への負担をかけている部分がある。 ・1クラスの人数がちょうど目が行き届く。 ・若い先生が多いのでこれまでの意識や技術の伝承が難しい。 ・視覚に訴えて子どもが取り組めるように工夫をしている。 ・ICTを活用しながら業務を明確化し、働き方改革に努める。 ・南小中学校になる前に、先を見据えた学校運営が重要だと感じている。 ・授業力向上に力を入れている。 ・ルールメイキングを通して教職員の意識改革、生徒の自主的な前向きな活動につなげている。（給食時の放送で改善の訴えを全生徒に伝え、有志の募集を募った。） <p>【地域連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クリーンアップ活動を小中連携。（小は6年） ・地域の方との巡視や地域の祭り、一人暮らしの方々が集まる機会に吹奏楽部が演奏を披露→発表の場を持つことで生徒の力が伸びている。 ・情報発信はX、学校だよりを通じて行っている。 <p>【多様な学びの創出】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内サポートルーム→個に応じて、スペイン語の勉強や編み物をしたりしている。 <p>【地域共生社会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶タウンみなみ、老人会との演奏会、できるだけ地域に協力。 ・本校職員、活力あふれるが経験に乏しい、校務分掌でも偏りがないように、ミドルの動きを若い職員が学べるような体制づくり。 <p>【課題対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き継ぎを異動前に実施していきたい。 ・ルールメイキングで刺激を与えていきたいが、盛り沢山で疲れているところも。→子どものためにという原動力を南小中の義務教育学校にもつなげていきたい。 <p>【特色ある取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・義務教育学校、いろいろなルール、生徒心得のようなものが必要か。 ・先生と子どもでルール化したいので、ルールメイキング事業に参加。 →NPOカタリバと生徒会、子どものアイデアの有志募集の方法。
--------	--

生駒北中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・小規模ではあるが、活気のある雰囲気。 ・校内サポートルームとして入口の見えない多目的室（会議室）を活用したい。 →中学校での活用マニュアルから小学校でも作成している。 ・音楽専科以外の教員は全員担任であり人員の確保も必要。 ・特休教員が出るとなかなか埋めきれず、業務の偏り勤務時間の長時間化は課題。 <p>○主体的な学び</p> <ul style="list-style-type: none"> ・元気よく挨拶、自己決定力をつけることを目標にしている 小中で研究部を立ち上げ。中学校ではAIドリルを使うための研修を行っている。 ・1月に主体的な学習についての研修を小中合同で行う予定にしている。 <p>○特色ある教育活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の教育力をゲストティーチャーとして招待、高山への郷土愛を高める。 →茶道・作法教室（小中を通じて）中学校卒業式後自分の茶筌でお茶会 和菓子学習（萬春堂・竹あかり協力のもと）中2 伝統音楽（三線・エイサー）地域の協力者とともに体験（中学生） →小学生はオンライン配信で見学、今後小学生も体験 ・ネットワーク高山と協力し見守り活動を行っている。 ・環境整備にも地域の力を借りている。 ・学校だよりを月1回地域に配布している。 <p>○地域共生社会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学では福祉体験、災害ボランティア体験の実施。（地域や県とタイアップ） ・インクルーシブ教育の推進 ・働き方改革 管理職の休日出勤の増加が課題、職員においては、長時間勤務は改善傾向にある。
--------	---

緑 ヶ 丘 中 学 校	<p>【主体的な学びの促進について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業研究 1学期は授業研究週間。 ・2学期授業週間ではなく、1学年の授業公開を行う。 (担任の授業→音楽、国語、英語、社会、特別支援学級) →専門教科の授業研究をすすめていただいている。 ・3学期は研究週間として設定し行う予定。 →ICT 機器の活用については、情報教育担当が操作などを支援したり、数学科の管理職といっしょにミニ研修を開催。 ・生徒会主体の定期テスト前の勉強会。 <p>【地域の拠点となる開かれた学校協働活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き教室を地域学校協働本部、地域の活動も進めている。 ・地域が訪れる学校を目指すが、学校からも地域へ出向くことを心がけている。 ・愛染寮の運動会に参加。 <p>【多様な学び】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不登校が大きな課題の1つ。 ・関係機関と連携は取れているが、Gルームの活用や放課後登校等、教員の負担もあるが、接点を切らないように努力。 ・校内サポートルームの設備が充実してきている。 <p>→担当教員と生徒と一緒に部屋を作り上げている。</p> <p>【地域共生社会に向けて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NPO法人との連携、職場体験の時間の確保が難しい。 ・生駒幼稚園での保育体験、校庭の解放で一緒に刷掲げ。 ・インターンシップ制度、大教大から介護等体験で特別支援学級→教育実習など。 <p>【課題と改善】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業改善を推進。 ・学びを深めるタイムを意識させる。 ・次期学習指導要領を読み解くことを早く仕掛けていきたい。
----------------------------	--

鹿 ノ 台 中 学 校	<ul style="list-style-type: none"> ・3年 少人数学級編成により3クラス。 ・年齢層が高いことが課題。 ・自己肯定感を高める取組をテーマに→生徒会を通してルール変更を行っている。 ・主体的な授業→市の研修への参加は少ない、情報は教頭から提供している。 ・危機管理意識を生徒だけでなく教職員にも伝えている。 「安心・安全な学校づくり」 不審者対応研修8月 教職員名札に笛。 ・不登校対応→サポートルームを今年度から開設。 時間割に教員1名も必ずサポートルームの対応を入れている。 <p>【様式2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○主体的な学びの促進について <ul style="list-style-type: none"> ・授業研究について、先生方が授業を見合い意見をもらう形で進めている ・テスト前質問教室、夏期休業前質問教室。 ・読書活動に力を入れている。朝読書・読み聞かせ（図書館より来ていただく） ○開かれた学校づくりの推進 <ul style="list-style-type: none"> ・家庭科の裁縫 ミシンを使う活動にサポートに入ってもらっている。 ・職場体験学習 2日間で実施（市内・精華町） ・地域行事の参加として吹奏楽部が参加してくれている。 ・地域・保護者に向けては情報発信しているが、滞っている部分もある。 ○多様な学びを創出する環境・場づくりの推進 <ul style="list-style-type: none"> ・不登校生徒への対応は個々の課題に応じて関係機関と連携しすすめている。 ・学校運営協議会を通じて地域との連携を密に行っている。 ○今後の課題 <ul style="list-style-type: none"> ・今後2クラス編成になり、教員減となる→部活、行事の精選を行っている。 ・まだ、保護者が部活動が内申につながっていると思っている。 ・小学校向けの新入生保護者説明会はオンデマンド。 ・校務分掌の整理も行っている。 ・年齢層が高いので新しいものへの対応がスムーズにいかない所がある。
----------------------------	---

上 中 学 校	<ul style="list-style-type: none"> ・落ち着いた校区で保護者の意識や要望も高い。 生徒現在 633 名 生徒数は今後減少傾向。 ・職員構成 40代50代前半が少ない。 現状担任と主任の兼務、経験の浅い30代が主任を担っている。 ・学校目標を基に、学校スローガン「笑顔あふれる学校」を目標に取り組んでいる。 ・学調の結果が高い。（生駒市・奈良県・全国と比較してもかなり高い） ・学力に伴わない生徒質問紙の結果→授業に対する期待度が低い、学習に対する意味をあまり感じていない。（通塾率の高さ） <p>○主体的な学びの促進について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICTの活用など、個別最適な学び等へつなげられるように進めている。 ・特色ある教育活動の創造。 職場体験には、学校規模・人数等の問題があり、受け入れ可能な場所が限られている。地域の保育園と連携しながら、体験活動（保育実習）を実施。 地域人材や卒業生を招いて職業講話を実施するなど教育活動の幅を広げている。 <p>○地域の拠点となる地域に開かれた学校づくりの推進について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書ボランティア、放課後学習ボランティア、花いっぱい活動、防災活動。 →それぞれの母体がしっかりして計画・活動しているので、学校と連携している感じが薄い。地域と生徒たちが共に考え、活動していく形にしていきたい。 ・情報発信に努めているが、現状追いついていない。 →組織立てて情報発信の方法を検討・地域の活動もしっかり発信していきたい。 <p>○多様な学びを創出する環境・場づくりの推進について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不登校生徒への対応について 校内サポートルームの活用、組織的な対応。 e ルーム（校内サポートルーム）はこれまで学習中心であったが、多様な子たちを受け入れるという観点から新たに整備し、毎日利用がある。 ・部活動をかなり熱心に行っていただいている 先生方も熱心だがなかなか授業や道徳、「人権意識」の大切さに意識が向いていない。道徳の授業を充実させ、人権教育をより推進していく必要がある ・特別支援に関わっては、本来必要な支援を行う必要があるが、保護者の意識も学力に比重がいっているように感じる。学校としても特別支援教育に力を入れていきたい。インクルーシブな学校行事、環境づくりを進めていく。 <p>○その他の学校の課題と改善に向けた方策について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒会活動の充実→生徒の多様な声を吸い上げ考えていく学校に。 ・教師主導の決定権→生徒に決定権を持たせ、生徒がルールを守っていける風土に。 年齢の高い先生ほど、生徒主導に嫌悪感がある。 ・生徒たちは学校行事にとても熱心に取り組める良き伝統もある。
------------------	--

光明中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・学校評価 自己評価・学校運営協議会・育友会本部役員 ○先生方の授業研究は書籍などが中心。→できるだけ多くの機会を持てるよう検討 →他校の実践取り組みなどをアーカイブで配信し共有していく予定。 ・授業研究・授業改善等、積極的な研修会への参加を促す。→南中・芦屋市 ・ICTの活用 生徒の自宅学習での活用の少なさが課題。 ・尾崎さんとの連携 2年生のキャリア教育、企業との連携。 職業体験→5グループで活動 台小と連携（楽しく掃除をする）、AI トング、 海洋プラスチック（万博での発表）、生駒駅南地区の活性化。 ・講演会 交通マナー講習会、薬物乱用防止、命の教育、ネットスマホ。 ・特色ある行事 文化祭、体育大会（全日）、合唱コンクール（たけまるホール） ・体育大会 保護者 200名（生徒数 332名）平日参観も保護者参加が多い。 中3の創作ダンス 生徒主体で考えている。 ・文化祭 中1劇（動画配信） 昨年度は中3が英語劇。 ・12月に瀬尾まいこさんの授業→前半教員で、後半瀬尾さんで瀬尾さんの教材を使って授業をする予定。 ○地域との連携 浴衣着付け体験、花いっぱい運動、家庭科ミシン補助。 ○校内サポートルーム 活動は自分で決めている。 ・不登校生徒への対応→校内サポートルーム、いきいき、SC、担任等 ・手芸部が座布団を作成、配布→地域
大瀬中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の働き方改革。 ・不登校生徒や不登校傾向にある生徒の対応。 ・主体的・対話的な授業実践。 ・学校運営協議会を核とした地域連携。 ・毎週水曜日は定時退勤日として設定。 ・校務分掌の見直し、ミドルリーダーの育成。 ・定期的な公開授業や研修の実施。まずは教科内での授業観察。ただ各教科共通のテーマや主題はまだない。 ・「当たり前のことを当たり前にできるように」 ・コミュニケーションや言葉を大切にする。 ・中学校は大人になるための学校という意識を。 ・あいさつ運動や防災活動に教職員が参加し、のちに生徒が参加していくように。 ・校内サポートルームの活用、学びを止めない多様な学びの場をつくる。月1回保護者のつながりの場を設定し、学校と連携。 ・地域行事について校内に掲示し、連携を進める。 ・時間外勤務の削減。働き方改革推進委員会を軸にライフワークバランスの実現を目指している。 ・教師自身が正しい言葉を使い、生徒の鑑となるように。

報告第23号

令和8年二十歳のつどいの開催について

令和8年二十歳のつどいの開催について、生駒市教育委員会教育長に対する事務委任等に関する規則（昭和60年4月生駒市教育委員会規則第6号）第6条第5号の規定により、報告する。

令和7年12月16日提出

生駒市教育委員会

教育長 原 井 葉 子

議案第 27 号

生駒市幼稚園再編にかかる基本方針策定について

生駒市幼稚園再編にかかる基本方針策定について、生駒市教育委員会教育長に対する事務委任等に関する規則（昭和 60 年 4 月生駒市教育委員会規則第 6 号）第 2 条第 1 号の規定により、別冊のとおり提出する。

令和 7 年 12 月 16 日提出

生駒市教育委員会

教育長 原 井 葉 子

議案第31号

幼稚園教諭・保育士人事異動方針について

幼稚園教諭・保育士人事異動方針について、生駒市教育委員会教育長に対する事務委任等に関する規則（昭和60年4月生駒市教育委員会規則第6号）第2条第1号の規定により、次のとおり提出する。

令和7年12月16日提出

生駒市教育委員会

教育長 原 井 葉 子



幼稚園教諭・保育士人事異動方針（案）

令和7年12月16日
生駒市教育委員会

幼稚園教諭・保育士の人事異動の方針を下記のとおり定める。

記

1 基本方針

- (1) 就学前教育・保育の充実を図るため、全市的な視野に立ち、適材を適所に配置する。
- (2) 主幹教諭・主幹保育士の管理職への登用を積極的に進める。
- (3) 同一園での長期勤務者の解消に努める。
- (4) 人材育成の観点から、多様な経験を積ませるために、幼保間の人事異動を積極的に進める。

附 則

- 1 この方針は、令和8年4月1日人事異動から適用する。

社会教育委員の委嘱について

生駒市社会教育委員に下記の者を委嘱したいから、生駒市教育委員会教育長に対する事務委任等に関する規則（昭和60年4月生駒市教育委員会規則第6号）第2条第7号の規定により、教育委員会の議決を求める。

令和7年12月16日提出

生駒市教育委員会

教育長 原 井 葉 子

記

住 所 ●●●●●●●●●●

氏 名 山上 哲

委嘱期間 令和7年12月16日から令和8年6月30日まで

議案第 33 号

令和 8 年度春期休業の終期及び冬期休業の始期の変更について

令和 8 年度春期休業の終期及び冬期休業の始期を下記のとおり変更したいから、
生駒市立小学校及び中学校の管理運営に関する規則（昭和 31 年 4 月生駒市教育
委員会規則第 1 号）第 3 条第 1 項ただし書きの規定により、教育委員会の承認を
求める。

令和 7 年 12 月 16 日提出

生駒市教育委員会

教育長 原 井 葉 子

記

令和 8 年度春期休業日の終期

（変更前）4 月 5 日まで （変更後）4 月 6 日まで

令和 8 年度冬期休業日の始期

（変更前）12 月 24 日から （変更後）12 月 25 日から